

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	健康づくり課	
	担 当	健康増進G 尾島	
会議名 (審議会等名)	令和4年度第3回嬉野市健康づくり推進協議会		
開催日時	令和5年1月24日(水)		
開催場所	嬉野市役所 3-2会議室		
傍聴の可否	(可) ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由			
出 席 者	委 員	福田委員(会長) 園田委員(代理出席) 田中委員 川原委員 諸岡委員 峰松委員	北 委員(副会長) 石崎委員 山口委員 岡 委員 津留委員
	事務局	健康づくり課	
	その他	株)サーベイリサーチセンター九州事務所	
会議の議題	別紙資料のとおり		
配布資料	第4次嬉野市健康総合計画・嬉野市食育推進計画素案		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議 題	協議事項 第4次嬉野市健康総合計画・嬉野市食育推進計画素案について		
内 容	1. 開会 2. 副市長あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 協議 業者より資料に沿って説明、質疑応答 5. 閉会		
審議経過	委員	<p>アンケート調査の24ページで18歳以上の市民1,200人に対して335人、回収率が27.9%、有効回収数が335ということですが、これから先2025年団塊の世代の方たちが後期高齢者になって超高齢化社会になるのは目に見えています。この335の回答のうち、65歳以上、75歳以上の回答がどれくらいあったのか、もしかしたら75歳以上の高齢者の状況が反映してないのではないかという風に感じました。</p>	
	業者	<p>細かな数字は今すぐ出てこないのですが、高齢者の方への取り組みというのは今回の調査に出てきていますので、年代別にみるとある程度高齢者の意見は反映されていると思います。ただ、今仰った高齢独居世帯というところまで踏み込んでおられませんので、そういった方々の健康に対する困り事や独居高齢者の課題がどこにあるのかといったところは全体の中ではっきり見えてきていないところかもしれません。具体的にその辺りが必要であれば出す必要があるかと思います。</p>	
	委員	<p>私が2年区長をしていて今から先一番気になるのが、独居世帯に関してです。昨年独居世帯の方が亡くなられて、3日後に発見されたということがありました。電気がついているから大丈夫ということではなくて、安否確認というのをどうしていけばいいのかというのが地区の課題でもあります。この健康総合計画にしろ食育推進計画にしろ、国、県、上位の計画にすり合わせて作っておられると思うので、それに関して私はとやかく言うつもりはありません。ただ、2025年以降になりますと10人のうち4人ぐらいが高齢者になります。そうなった時に独居高齢者の意見を踏まえるには、地区ごとに職員が出向いて意向調査をとらないとアンケート調査を配っただけではおそらく回答はほとんどないのではないかと思いますので、今</p>	

審議経過	事務局	<p>後、そういう意向調査をぜひやっていただきたいと思います。</p> <p>高齢者に関しては、福祉課の方で担当されています。高齢者福祉計画を策定する際に、高齢者や要介護者、介護をしている家族の方へもアンケートをとっておられます。その結果をもとに計画を立てられていますので、こちらの計画（健康総合計画・食育推進計画）では、一人暮らしとか、これからの問題となる高齢者の問題に関してはあまり踏み込んでいないというのが現状です。</p>
	委員	<p>高齢者福祉計画の中にあるというのはわかっていたんですが、今後高齢者が増えていくという中で、市全体での取り組みや健康総合計画の中での位置づけ、食育の中での位置づけもある程度必要になってくるのではないかということではいきましたので、あくまでも要望です。</p>
	委員	<p>4ページの計画の位置づけの部分ですが、前計画の健康総合計画・食育計画の下に健康増進事業、母子保健事業、食育推進事業とした図面の方が見やすいのかなという気がしました。それと、4ページの保健事業実施計画という保険の陰は健康の健じゃないですか。</p> <p>あと、目標値を挙げてありますが、普通目標値といえは整数なのかなと思うんですが。</p> <p>それと、コロナ禍という表現はこの中にありますけれども、感染症対策とかそういう風な文言についてはこの計画の中に入れる必要はないのかなと思いました。感染症という一つの大きな括りで考える必要はないのかと。</p> <p>それと、95ページの協働による計画の推進地区組織の中に行政嘱託員となっていますけど、今嘱託員はないと思いますので行政区長ではないかと思います。それと、農林事業者・企業というのは、商工業者、観光関係とか商工関係とかもこの中に包含されているのでしょうか？</p>
	業者	<p>4ページの体系図が、前回の方が見やすかったんじゃないかというご指摘についてですが、位置の問題で、国、県の関連計画が嬉野市健康総合計画と食育推進計画の下にくるのは配置的にどうかな思ひまして、今回変更しています。真ん中にありました各事業というのが、他計画と並列すると少し意味合いが違うのかなということではいきましたので計画の位置づけというところから外して整理したところではございます。今回の方が見にくいということであればまた見やすいように検討が必要かと思ひます。2点目の目標値が整数で出されているのが順当ではないかということではございますけれども、大体小数点一位までを表示しているのが一般的なやり方ですので、これを基準値としたり目標値としたりしているところにつきましては、小数点も混在したような形になっております。これについては、前回もそういったところがあったと思うんですが、実際目標値として細かいところまで出しているものの中にはあるということではございます。3点目にコロナについては感染症対策自体を扱っている計画ではござい</p>

審議経過		<p>ませんので、コロナによる新しい生活とか生活環境の変化に対応した今後の取り組みというようなところで入れていますが、実際感染症に対してどう取り組むかといった具体的なところは計画の中には入っていない状況であるかと思えます。95ページの嘱託員のところをご指摘のとおりでございますので修正したいと思います。あと、最後の同じく体系図のところは、仰るとおり企業の中に観光とかいろんな業者、事業所も含まれたイメージでございます。この企業は幅広くとっているところがございますけれども、観光という面でいろんなお客様が来て、嬉野の食を知ってもらおうとかそういった関りも出てくる場所かと思えますので、もしここに観光業者等ということで列挙する必要があるかと思います。</p>
	事務局	<p>4ページのご指摘のあったところですが、保険の險になっておりますけれども健康の健が正しいようでございます。また、全体を見ながら、誤字、脱字等再度チェックをしたいと思えます。</p>
	委員	<p>先程の地域組織の中に地域婦人会とありますが、婦人会がある地域とない地域があつて、名称もそれぞれの地区で違うようですが、女性の団体とかいう風に総じて言えるものがあればと思えます。</p>
	事務局	<p>地区によって婦人会があるところとないところがあるということで、ここの表現については確認をとりたいたと思えます。</p>
	委員	<p>この会議は、嬉野市の乳幼児から老人までの健康な身体づくりが主眼点だと思うんですよ。だから、市としてもそれが大きなテーマだと思うんですね。私が気になったことは、73ページの市民の食に対する理解が不十分、これは大きな問題です。それから、朝食を摂らない人や、パンのみ、菓子のみで済ませる人がいる。これは不健康につながります。それから、共働き世帯では家で料理をして家族に食べさせることが難しくなってきました。スーパーとかコンビニとかお惣菜がたくさん売ってありますので、1日仕事をして疲れ果てて帰ってきたお母さん方は、それに飛びついて、「今日はこれをチンして食べさせよう」と。それが続きますとどうなります？家族全体の健康を害することになるんです。ですから、子育て世代の父親とか母親が食べることの大切さ、栄養のことをもっともっと知る機会を増やして欲しいと思えます。それが家族全員の健康につながるんですよ。何かの本で読んだんですが、子どもたちに「何が一番美味しいの？」、「コンビニで買ってきたお惣菜と作り立てのお弁当、お母さんやおばあちゃんが作ってくれたお料理、どれが一番安心して食べられる？」と聞いた時に、どれだと思いますか？子ども達の6～7割が、うちで作ってもらったお料理が一番安心して食べられると答えているんです。家で作るお料理がたとえお御馳走じゃなかったとしても、子どもは安心して食べられるんだというのを自覚しているんですよ。なのに、大人がそれをどのように受け止めているかです。だから</p>

審議経過		<p>行政の取り組みに書かれておりますが、食育推進会議では実績報告ばかりでなく、各団体の活動の中からみんなで取り組める何かを見出し、それを実行されているのがよいと思う。これはとても大きな目標ではないかなと思います。誰でも取り組める大きな目標をですね、横断幕に掲げてもいいと思います。どれだけ実行されるかわからないんですけども、しないよりはましです。例えば1週間に3回は家庭料理を作り団らんをしようとか。そういう風に誰でもやろうと思えばできる。そのあたりをこの会議でもう少し討論したらどうでしょうか。市民全部が健康になる手立ては何か。私は食生活推進協議会で各学校に食育教室に行きますが、みそ汁の栄養を知らないんですよ。みそ汁を食べている家庭が少ない。みそ汁とかご飯とかは日本人の遺伝子に組み込まれている健康的な食べ物なんです。パン食や洋食に走るのももちろんいいですよ、食べるなどとは言いません、でも、日本食、和食をもっと重要視して本当に日本人の健康につながるようなそういう食べ方が大事なんだということを私は認識して欲しい。ただでさえ少子化です。将来を考えてみてください、小さい子どもたちが日本を背負っていくんです。その子たちを元気に健康に育てなくてどうしましょう。それは大人の責任だと思うんです。それをもっともっと議論しなくちゃいけないんじゃないかなと私は食育教室に行くたびに思います。子どもたちは、私たちが話すことを受け止めてくれます。“わぁ、そがんこと知らんやった。”“へえ、そうですか!?”って感動の声をあげます。それをもっともっと広げていきたいと私は最近痛切に思っています。以上です。</p>
	事務局	<p>食に対する教育というものは、未就学児、小学校、中学校を通じて食改協の方を中心に活動をしていただいております。大変有難いことだと思っております。先程73ページのところで言われておりましたけれども、これからの取り組みの中で一番大切なことは、食事の時はテレビを消して家族との会話を楽しむ、それと、一家団らんで食事を楽しむところで、親子の食に対するお話しもできるし、世間話もできる、そういったところから食育を普及させていかなければならないと感じております。それでは行政がどのように動くのかというところですが、本計画をもとに食に対する普及を中心に重要な項目として取り組んでいかなければならないと感じております。</p>
	委員	<p>みんなで目指す目標値の中で果物摂取100g未満の人というのがありますが、この項目だけ以上じゃなくて未満になっていて目標値も下げなければいけないようになっているのは何故でしょうか。</p>
	事務局	<p>果物の摂取につきましては、たくさん食べれば健康効果が上がるという解釈ではございません。大体目安が100gぐらいたべた方がよいということになっていきますので、100g未満だとちょっと少ないかなということで、100g未満の人を減らすということです。それが、例えば100</p>

審議経過		<p>g以上の人を増やすということになりますと、400gとか食べる方も入ってきますので、たくさん食べると糖尿病の関係だったり、野菜とは少し解釈が違って、野菜は350g以上が基準で、ある程度たくさん食べても健康に害があったりはしないけれども、果物の場合は食べ過ぎると少し健康に害がある場合もあってそこがよくわかっていないのでだいたい100gぐらいということで100グラム未満の人を減らすということになります。</p>
	委員	<p>例えば10gとか摂ってる方も未満になりますよね。それを増やすということにつながりはしないですか。</p>
	事務局	<p>100g未満の人を減らすということですので、例えば今20gしか食べていない方は100g近く摂っていただきたいということになります。</p>
	委員	<p>たくさん摂ったら危ないですよというところには行きつかないんですね。</p>
	事務局	<p>まだその研究がはっきりしていないのですが、400～500gとか毎日果物を摂ると他とのバランスが取れないし、100g以上摂りましょうと言うと、どうしても大量も入ってしまうので、100gか200gぐらいがいいんでしょうけれども、そこが目標設定として立てづらいので100g未満の人を減らすとか、食べない人を減らしたいし、少量の人も減らしたいということですよ。</p>
	委員	<p>以前第3次計画案とかいう立派な冊子をいただいて、今回も立派なものが出てきていると思うのですが、一市民としてこれを受け取ってどれだけこれを読んで意識されているのかなというのにすごく疑問があります。私もこの会議に参加させていただいてからこの冊子を頂いた時にそういえばこんなのもらったような気がするなという感じで探してみたらあったんですね。各関連団体もすごく意識を高く持って活動されている方はいらっしゃるんですけど、一市民に対するアプローチとしてこれを配るだけではあまり届かないかなと。情報提供と仰ってますけれども、具体的にどういう案があるのか知りたいと思います。それと、今度第4次になると思うんですけども、今までやった中で前回との比較、前回は基準にして次の目標値を設定してあるんですけども、それまでの推移、変化が資料の中で全然見えてこなかったのが数字が改善されているのかなと思います。高い目標数値をあげられているのはわかるんですけども、その比較がちょっと見えないなというのがありました。</p>
	事務局	<p>計画というのはあくまでも計画でして、一般の方すべてにこの計画をお配りするわけではございません。これをある程度簡略化したものを概要版として一般の家庭にお配りします。ただ、概要版というのはあくまでも概要版ですので、内容の一つひとつを全部網羅しているわけではございませんので、目安みたいなものをわかりやすい表示の仕方でも書き込んであるものになります。</p>

審議経過	委員	<p>それと、途中の経過が分からないということですが、あくまでも計画というのは前回の計画との比較ということになりますので、5年前との比較ということになります。10年前の状況と比較しても今の世の中の状況が全く違うので、そういう比較はしておりません。</p> <p>先程食についてお話がありましたけれども、嬉野市は地域コミュニティがごございますよね。いろんな女性団体もあります。婦人会はないところもありますけれども、地域コミュニティの中で女性もいろんな役をされて会員に入っておられますので、この活動において地域コミュニティをもっとどんどん活用した方がいいのではないかと、そしたら一般市民がもっと活動に関心を持たれてわかってもらえるじゃないかなと思うんですよ。せっかく地域コミュニティがありますので、そこをうまく活用したほうが一番市民に行きわたるんじゃないかなと思います。何の会議に出ている地域コミュニティの活用がまだできてないと感じます。いろんな審議会に出させてもらうんですが、せっかくあるのだから地域の一人一人が分かるように、先ほど概要版を配るという話がありましたが、でもそれを渡しても見る人がいない、回覧板でも同じですよ。だから地域コミュニティをもっともっと活用してもらいたいなというのを一番に望んでいます、よろしくお願いします。</p>
	事務局	<p>委員さんが仰られましたとおりでございます、地域コミュニティという地域の取り組みというのがやはり課題になってこようかと思えます。この計画の中に分野ごとの取り組みの目標をあげておられますが、その中に地域の取り組みというのを挙げておられます。こちらの方を十分活用して、コミュニティの方にも働きかけながら地域ぐるみで取り組んでまいりたいという風に考えているところでございます。</p>
	委員	<p>確認です。28ページの基本理念のところ、以下新規ご提案という表現でいくつか考えられていますけれども、これについては次の29ページの今まで掲載されていた、深めよう、つながろう、健康うれしのを変えろという意味での新規ご提案ですか。</p>
	事務局	<p>基本理念として5つ案を挙げておりますが、健康づくりの方向性や嬉野市総合計画の基本理念などを踏まえて、こちらの方で考えた5つを案として挙げさせてもらっています。この中から一つに絞りたいと思っているのですが、今日時間があれば委員のみなさまにも投票に加わっていただきたいと思っています。</p>
	委員	<p>冒頭の説明の計画の方向性というところで、これまではヘルスプロモーションを中心としてやっていたものが、ソーシャルキャピタルを活用しましょうということで、ソーシャルキャピタルは人と人とのつながりとも言われています。コミュニティを活用して作っていきましょう、健康づくり＝地域づくりということなんですね。これは、大分前から言われております。一番最初にヘルスプロモーション及びソーシャルキャピ</p>

<p>審議経過</p>	<p>会 長 事 務 局</p> <p>タルの視点に基づいて作っていきますということを言われましたのでその話が出てくるかなと思っていたんですが、先ほどの委員さんのお話で、これだなと思いました。地域にたくさんある既存のいろんなグループとタイアップして協働しながら進めていきたいと思いますということを言われて、非常に力強い言葉ですね。エネルギーがあるなと感じました。ソーシャルキャピタル、地域の資源を活用しながらやっていければもっともっと発展するんじゃないかなと思いました。</p> <p>他にご質問がなければ、協議事項は以上になります。 それでは進行を事務局にお返しします。</p> <p>今後の予定について 2/10に食育推進会議で委員の皆さまにご意見をお伺いして、その後、パブリックコメントで市民の方からも意見聴取したいと思っています。3月末までには仕上げて、計画の方を皆さま方にお配りしたいと思っていますので目を通していただければと思います。</p> <p>【閉会】</p>
<p>その他</p>	